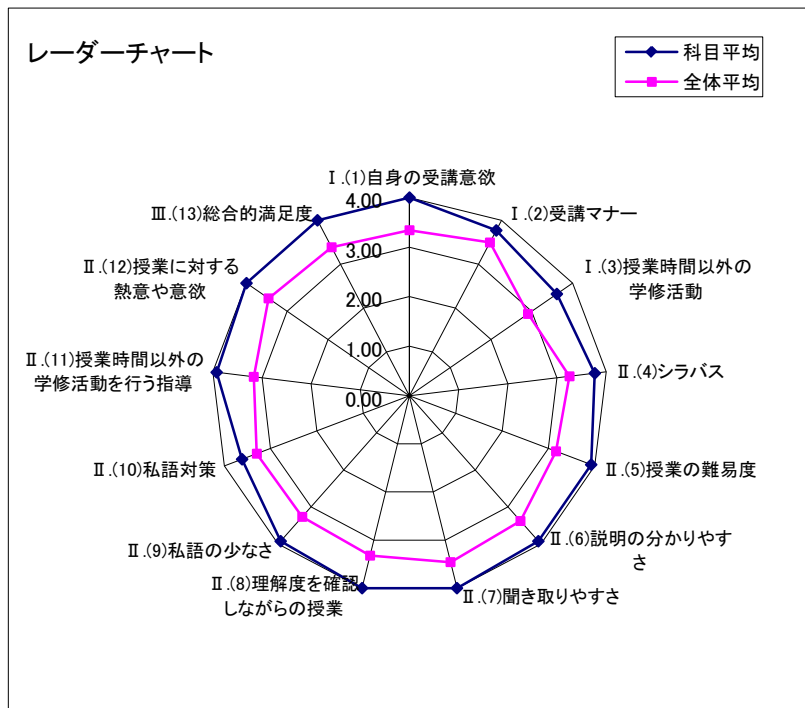
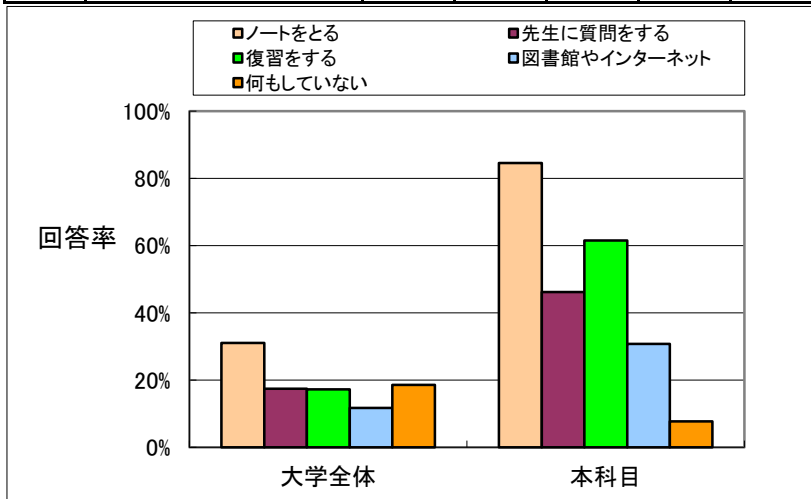


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	84.6	46.2	61.5	30.8	7.7



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	4.00	3.34
	I.(2)	3.77	3.49
	I.(3)	3.62	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.77	3.26
	II.(5)	3.92	3.16
	II.(6)	3.92	3.38
	II.(7)	4.00	3.46
	II.(8)	4.00	3.32
	II.(9)	3.92	3.27
	II.(10)	3.62	3.30
	II.(11)	3.92	3.17
	II.(12)	4.00	3.46
	総合評価	III.(13)	4.00

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.79	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.90	3.31
総合評価 III.(13)	4.00	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	3307
科目名	日本語(語彙・読解)Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

授業において計画通りに進度をはかった。随時、学生の要求に応え日本語能力試験1級の過去問題や試験対応問題を練習したため、24年度良好な成績を得る。授業時間外においてオンラインで随時質問などを受けて指導し、授業内容を再確認した。また、学生の進度や把握度を確認し、授業の内容と難易度を随時微調整した。その他、話題の記事や社会に関する新聞内容なども紹介し、言葉の背景にある習慣、社会、文化など関連性のあるものの学習を心掛ける。特別聴講生は日本語を専攻にしているため、知識に対する要求が高い。そのため、日本人の視点と留学生の視点両方から授業内容を工夫した。

②授業の進め方について

24年度シラバスにそって授業を進めた。新学期当初、規則や授業内容、テストなどの注意事項を説明、ルールを決めた。その結果、授業中よけな注意事項なく学習進度をあげたため、効率がよく、計画より良好な効果がみられた。授業外においてインターネットを利用し、質問などを随時受けた。また、一分の資料をデータ化にして学生がみられるように工夫した。その上、学生の要求に応じて内容を微調整した。授業の最後に毎回小テストをして、学生が把握できたかどうか確認した。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

新学期の初めに厳しく規則を決めたことが効果が大きくみられた。出席が良好で、学生は積極的に学習に取り組んだ。学生の理解度の向上及び興味関心の引き出しをはかった。本科目において総合評価はほぼ満点であるので、学生が大変満足できた様子だった。また、学生から教員に対して多々のコメントを寄せられ、大変励みになる。学習内容において工夫したものを今後の授業に用いられる。